

町の懸案課題の解決に55年の歳月が

「国道美国新橋」が完成!

地籍調査事業の新たな実施により、当初計画より遅れた美国川河川改修事業は、地権者など、地域の関係者の皆さんのご協力により、平成26年度から国道美国橋架替工事に着手。10月25日、国道美国新橋が開通しました。

国道美国橋架替工事は、北海道の河川改修工事の主要な工事の一つとして、北海道の負担により国道管理者（小樽開発建設部）が実施しました。美国川は、昭和37年に発生した台風9号、10号の影響により、堤防が決

壊、濁流が美国市街に押し寄せ、383戸が浸水する被害の歴史から今年でちょうど55年。当時の被害額は、約2億8,950万円（現在の価格で、約11億5千万円）と記録されています。

また、平成10年9月と翌年の7月の台風では、家屋浸水の被害が発生し、現状の河道の流下能力不足、護岸の老朽化等により、堤防や護岸が決壊し甚大な洪水被害が発生する危険度が高まってきたため、河川管理者である北海道が2級河川整備計画に基づき事業を進めてきました。

美国川は、旧美国橋の川幅部分が最も狭く、50年に一度の大雨に対応できない箇所となっているため、その解決策が河川整備計画の中でも最も重要な課題とされています。

このため、旧美国橋の橋長29・1mから、美国新橋の橋長70・4mと2倍以上に延伸したことで、川幅が大きく拡張され、治水上の改善が図られたことになりました。

昨年8月の十勝地方の大雨激甚災害では、1週間3つの台風が上陸。連続する豪雨により全道各地で甚大な被害が発生しました。今後も、異常気象から流域住民の生命と財産を守り、美国川の安全確保を図るため、引き続き国道美国新橋から上下流部の河道拡幅や護岸工事、隣接する町道の新たな付替工事が進められます。



▲開通した美国新橋

また、平成10年9月と翌年の7月の台風では、家屋浸水の被害が発生し、現状の河道の流下能力不足、護岸の老朽化等により、堤防や護岸が決壊し甚大な洪水被害が発生する危険度が高まってきたため、河川管理者である北海道が2級河川整備計画に基づき事業を進めてきました。



▲解体前の旧美国橋

このため、旧美国橋の橋長29・1mから、美国新橋の橋長70・4mと2倍以上に延伸したことで、川幅が大きく拡張され、治水上の改善が図られたことになりました。

安全確保を図るため、引き続き国道美国新橋から上下流部の河道拡幅や護岸工事、隣接する町道の新たな付替工事が進められます。



▲昭和40年頃の美国橋

郷土の誇りと歴史に“感謝”をこめて 神威岬灯台に“俳句”

成田智世子さんが9句の俳句を寄贈

”灯台に「感謝」と「願い」をこめた俳句

2017年度「恋する灯台プロジェクト」に、神威岬灯台が選ばれたことから、美国踏青俳句会会長の成田智世子さんが町の新たな観光発信と灯台守の苦難の歴史に感謝の気持ちをこめて俳句を作り、10月25日、小樽海上保安部と第1管区海上保安本部へ寄贈しました。

この日、成田さんが、松井町長の案内で小樽海上保安部を訪問。梶山裕司小樽海上保安部長（写真・右から2人目）と、田中功第1管区海上保安本部交通部長（写真・左）に俳句額を寄贈。それぞれの句にこめられた神威岬灯台への想いを伝えました。

また11月1日には、松井町長に託された3句の俳句額が国土交通省海上保安庁八木一夫交通部長に、波房克典日本ロマン

鳥賊火燃ゆ 恋する灯台 わが町に
小鳥来て 恋告ぐ岬の 灯台に
時化波が 呑みし妻子よ 歳月よ
幾星霜 経し灯台や 鳥渡る
灯台守に 雪は下より 吹きあぐと
灯台の あかりはぬくし 過疎の村
風からむ 岬の馬背路 実はまなす
時化の夜の 灯台は父 灯は母よ
神威名の 灯台の沖 風光る

成田 智世子

▲3句ずつ贈られた俳句（右：小樽海保、中央：第1管区、左：海上保安庁）



▲海上保安庁（八木一夫交通部長室）

チスト協会長と海野光行日本財団常務理事に1句の色紙がそれぞれ伝達されました。

「全国恋する灯台サミット」に参加

「恋する灯台」に認定された全国31の市町村が集う「恋する灯台サミット」が11月1日、大勢の報道機関が集まる中、東京都の日本財団で開催され、松井町長が参加しました。

このサミットでは、「恋する

灯台」を地域の価値ある観光資源として新たな活用の可能性について、様々な分野の専門家から、これまでもない海外や全国の灯台の活かし方について意見が出されました。

また、交流会では、松井町長が31の市町村を代表してあいさつを行い、同行した佐藤理商工観光課総括主査と共に、積丹ブルーと北海道遺産神威岬の魅力を全国にPRしました。

神威岬灯台は、来年開設130年を迎えます。